



izumi NEWS

学校法人 クラーク学園

和泉短期大学・和泉福祉専門学校

Vol.3
(2009年11月)



2009年度 聖句

わたしは弱いときにこそ強い

(コリントの信徒への手紙 ニ 12章10節)

第43回いずみ祭 サウンドコンテスト優勝 2年Lグループ



いずみちゃん



クラークくん

(クラーク学園和泉短期大学のマスコットキャラクター)

izumi ニュース Vol.3

和泉短期大学 広報渉外・庶務ユニット
発行責任者 理事長 深町 正信

〒229-8522 神奈川県相模原市青葉 2-2-1
TEL.042-754-1133 (代表)

URL:<http://www.izumi-c.ac.jp>

特集

和泉短期大学のルーツをたどる旅

izumi TOPIC 第43回いずみ祭

- インターナショナル・ソーシャルワーク
- バスケットボール部、全国私立短期大学体育大会出場
- キャリアアップデーふたたび和泉での学びをー
- 格付け「BBB/安定的」を維持
- 2010(平成22)年度 和泉短期大学 専攻科 新設
- フィリピン台風被害義援金

和泉短期大学のルーツをたどる旅

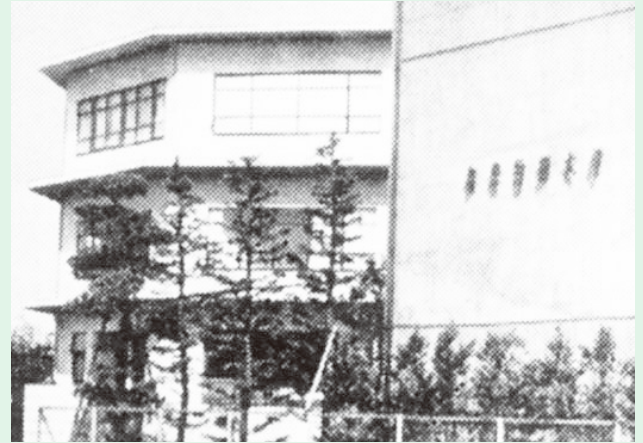


和泉短期大学は現在の地に 1976 年に世田谷から移転してまいりました。その世田谷時代の校舎が、現在、日本体育大学和泉校舎として残っています。1956 年建築の八角形の珍しい建物です。

今回、日本体育大学の方のご厚意で、敷地見学と建物の内部まで案内していただけることになりました。バット博士記念ホーム、玉川保育専門学院、児童救済団体 CCF がこの地で、戦後の子どもたちのために結びついています。



2009 年 10 月 3 日現在の和泉校舎



1956 年当時の和泉校舎

和泉のルーツをたどる旅



後援会 会長
木村 治男

「皆さんは枝であり、子どもはその花である。リッチモンドは根である。」53 年前、バット博士記念センター開所式で、クラーク博士がそう語ったという、『学校法人クラーク学園 創立五十年誌』に綴られた言葉に誘われ、和泉短期大学後援会は、東京・世田谷の「八角形の建物」の前に総勢 16 名で立った。“これが、ここが、和泉のルーツか”と、目を見張った。

一見、今風でない。確かに、聞いていたとおり「八角形」だ。現在の持ち主、日本体育大学の職員の方が、今では狭く感じるが、きれいに磨かれた玄関から、二階のゲスト・ルームへと招いてくれた。

戦災孤児・引揚孤児たちをビルの中の「収容施設で」育てるのでなく、「庭のある小寮舎で」と願う、先駆的事业がここから始まった。同時に、現任職員の資質向上のための研修講座もだ。ガイド役の豊福先生、学校側参加者は、当時をなつかしみ、振り返った“ここから、町田のバットホームも、杉並の CFJ(チャイルド・ファンド・ジャパン)も、育っていったのだ”と。

「かって日本の子どもたちが、今海外の子どもたちを」と、困窮する子どもたちへの支援の「枝」はかって遠く海の向こう、アメリカ・バージニア州リッチモンドから伸びて来て、今や日本の「国境を越え」、アジアの国々へとさらに伸展している。

和泉のルーツをたどる旅は、「児童福祉」の原点に、確かにたどり着く旅だった。



和泉短期大学後援会

地元の方の 声

「30 年前の和泉短大のおねえさん！」



地元育ち
宮崎 雄一郎
(日航パイロット)

今から約 30 年前、私が小学 3 年生の頃、学生の皆さんの通学バスが並んでいる場所は、目の前の大通りも含めて、雑木林や赤土のグラウンドでした。そこは、周囲も森に囲まれていて、今より 10 倍以上の緑と生物の宝庫でした。グラウンドでは、少年野球やドッチボールの練習、雑木林や多くの原野では、カブトムシやクワガタ、カマキリ、蛇などがいて、いつも捕まえて遊んで育ちました。

その頃、移転されてきた和泉短大さんの寮には全国から集まった女子学生さんがいて、私や近所の子ども達が「短大のおねえさん！」と声をかける度に、ジャージに T シャツ姿のおねえさん方が日暮れまで一緒に遊んでくれたことが、少年時代の記憶に鮮明に残っています。

現在、国内外をフライトしていると、この短大周辺の緑多い街は、世界の中でも 10 本の指に入る程素敵な街です。フライト後、成田や羽田から地元青葉に帰るとホッとします。

共学となられても、地域や緑を大切にされている皆さんにいつも感謝しています。

「いずみ祭」を終えて



学生部長
佐藤 守男

和泉短期大学の文化祭である「いずみ祭」は、今年で43回を迎えました。思い返せば、私はその半分近くを学生たちと一緒に過ごしてきたこととなります。

文化祭プログラムは、模擬店・サウンドコンテスト・ファッションショー・ハンドベル等、学生たちが協力して作り上げたもので、参加した学生は必ずと言ってよいほど、達成感に満たされたものと思います。その意味では今年も大成功を収めたのではないのでしょうか。

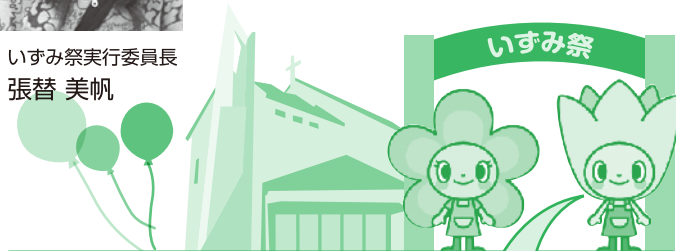
また、このいずみ祭では、ポスター図案を公募したのを始めとし、話し合いを重ねながらプログラムを作成、アーチや校舎を飾りつけ、模擬店のテント張り、前後夜祭・サウンドコンテストの企画進行、ごみ処理など、目立たない仕事をやってくれた学生たちがたくさんいたことを忘れることができません。その学生たちに心から感謝の拍手を捧げたいと思います。そしてこれらを担ってくれた学生たちと触れあえたことに私は教員としての醍醐味を感じています。

あともう5か月もすると、2年生はみな和泉を旅立ちます。残りの時間を和泉の学生として思う存分、楽しんでください。応援しています。



いずみ祭実行委員長
張替 美帆

第43回いずみ祭が10月24日(土)・25日(日)に行われました。雨が降ってしまいましたが皆さん楽しめたようです!! 夏休み前から準備していた成果がでたのでは?と思います。1年生は初めてのいずみ祭、2年生のほとんどの人は学生生活最後の学祭... 1人ひとり色々な思い出が出来たのでは☆



いずみ祭に模擬店参加された地元の青葉二丁目自治会から収益の一部(10,000円)をご寄付いただきました。本学の福祉活動に活用させていただきます。ありがとうございました。



サウンドコンテスト



ハンドベル・クワイア コンサート



造形あそび、劇段ボール紙夢づくり

インターナショナル・ソーシャルワーク

「インターナショナル・ソーシャルワーク」の授業では、毎年夏休みを利用して、韓国にある児童養護施設、学童クラブ、保育園、社会福祉施設で見学実習を行います。施設に入所している子どもや施設に通ってくる地域の子どもたちと交流し、一緒に工作をしたり、手遊びを披露したりします。

「インターナショナル・ソーシャルワーク」(韓国研修)での経験 2年Gグループ 町田 藍

私は、この韓国研修でとても素晴らしい経験ができ、人生観も変わることができました。まず、韓国の保育園では先生方が書く1人ひとりの子どもの成長記録やクラス便りなど、パソコンを使い、可愛らしく見やすいものを作っていました。工作や手遊びなどの実習では、折り紙の折り方もジェスチャーなどを使って分かってもらうことができました。帰る頃には、子ども達が私達に寄ってきてくれ、一緒に遊ぶことも出来ました。

児童養護施設では、幼児と触れ合う中で、子どもたちは怖がらず、積極的に私たちに近づいてきてくれることに驚きました。子どもたちが私たちに何かを話しているのに、韓国語が分からないので、返す言葉がありませんでした。しかし、ジェスチャーやスキンシップなどを使い、子どもたちと仲良くなる事が出来ました。もっと韓国語を勉強しておけばよかったと後悔しました。

社会福祉会館では、私たちのために人形劇を演じてくれたおばあちゃん達との会話がとても印象的でした。日本語の上手な方もいて、歴史を感じることができました。韓国の方は本当に勉強熱心で、人とのつながりを大切にしている方々なのだと感じました。

「一期一会」という言葉がふさわしい研修だったと思いました。出会いを大切に、人に優しく自分に厳しく、という生き方をしていきたいと思いました。



東明児童養護施設にて園長先生と

バスケットボール部が全国私立短期大学体育大会に出場

第44回全国私立短期大学体育大会に、本学バスケットボール部が参加いたしました。(8月3日~6日、会場：狭山市民総合体育館)

女子バスケットボール部は本年度新たに設立され、今回は1年生のみ13名が参加しました。5月から本格的に週2回の練習を開始し、大会直前の2日間は、相模田名高校・黒川先生のご好意で同校の合宿にも参加させて頂きました。部員みんな相談して、本学のスクールカラー「緑」を使ったユニフォームも作り、全員が力を合わせて一生懸命頑張りました。

試合結果は、次のとおりです。

- 1回戦 抽選シード
- 2回戦 和泉 53-60 金沢学院

結成後わずか3ヶ月、しかも1年生のみのチームの初試合であり、最初はさすがに固さも見られて得点で先行されましたが、終盤は次第に調子を上げ、連続シュートも決めるなど、わずか3点差にまで追いつめました。残念ながら結局初戦を飾ることはできませんでしたが、試合後の選手たちの顔には、爽やかな汗と、精一杯力を出しきった満面の笑顔がありました。



キャリアアップデー—ふたたび和泉での学びを—

文部科学省選定「学生支援推進プログラム」の一環事業として本学卒業生と在学生を対象に開催します。
《2010年2月13日(土) 10:00~15:30》

■ プログラム

I. 開会礼拝: 10:00~10:30 (和泉クラーク・ホール)

(説教: 伊藤忠彦学長 司会: 佐藤守男 奏楽: 石井三枝子)

II. 講演: 10:30~12:30 (和泉クラーク・ホール)

■ 指定講演 (10:30~11:30)

講師 東洋英和女学院理事長・院長

((株)資生堂相談役・元社長、会長) 池田 守男先生

題 『子どもの権利と福祉』

■ 基調講演 (11:30~12:30)

講師 キリスト教保育連盟理事長 長山 篤子先生

題 『豊かな保育者になるために何が必要か』

〈昼食: 食堂 (カレーセット 400円・卒業生は無料) 12:30~13:30〉

III. 分科会 —歩み続ける卒業生の姿— (13:30~14:50)

■ 分科会 (1) ボランティア活動を通して 於: 300 教室

シンポジスト: 山田ひろみ氏 (6 期生)

コーディネーター: 武石宣子

■ 分科会 (2) 里親として 於: 303 教室

シンポジスト: 山本節子氏 (5 期生)

コーディネーター: 平田美智子

■ 分科会 (3) 地域の子育て支援者 於: 203 教室

シンポジスト: 伊東弘子氏 (7 期生)

コーディネーター: 井狩芳子

■ 分科会 (4) 施設保育士として歩み続ける 於: 212 教室

シンポジスト: 丸山和恵氏 (28 期生)

コーディネーター: 横川剛毅

〈和泉クラーク・ホールへ移動 (10 分)〉

IV. 分科会報告と閉会挨拶: 15:00~15:30 (和泉クラーク・ホール)

報告者: 山田ひろみ・山本節子・伊東弘子・丸山和恵の各氏

閉会挨拶: 武石宣子 (和泉コミュニティ委員会委員長)

(和泉コミュニティ委員会主催)

学校法人クラーク学園 格付け「BBB / 安定的」を維持

本学園は短期大学法人で唯一の格付けを維持しました

学校法人クラーク学園は、JCR(日本格付研究所)より、2009 年度で 2 回目となる評価を受け、長期優先債務格付「BBB (トリプル B フラット)」今後の格付けの見通し「安定的」が維持されました。短期大学法人として学校法人の格付けを公表するのは本学園が初めてです。今回の格付け「維持」の評価のポイントとしては、下記の通りです。

1. 女性の社会進出の増加に伴い保育施設、保育者のニーズが増している
2. 相模原市中心に福祉施設等従事者の輩出実績があり、地域社会からの評価を得ている
3. 新理事長の下で明確なビジョンを定めると共に、将来の環境変化への対応に備えた施策を検討・着手しはじめている
4. 財務上の資産蓄積度は高く、当面の将来構想の実現を支えるだけの体力を温存している

JCR より格付けを取得したことにより、本学園に対する公平・公正で客観的な第三者評価が得られたものと考えます。

クラーク学園は、今年度創立 53 周年を迎えましたが、教育、研究、社会貢献を行い、キリスト教精神に立った、充実した教育と健全な運営に取り組み学園のミッションを果たしてまいります。

フィリピン台風被害義援金

学園はフィリピンに住む里子の生活を支援しています。去る 9 月 26 日、そのフィリピンに台風 16 号が上陸し大変大きな被害をもたらしました。亡くなられた方や行方不明の方が多数おられ、さらに多くの方が避難生活を余儀なくされました。被害に遭われた方々の辛さや苦しさに思いを寄せ、10 月 8 日から 19 日の間、学園内で「フィリピン台風被害義援金」を募りました。集められた 30,000 円は、チャイルド・ファンド・ジャパンを通して、現地の方々の生活のために役立てていただきます。離れていても隣人同士です。互いに心を配り、祈り合う関係を今後も築いていければと考えます。ご理解ご協力いただきました学生の皆さん、教職員の皆さんありがとうございました。

訃報 花村 春樹・第 3 代学長 逝去

本学第 3 代学長の花村春樹氏 (79 歳) が 2009 年 7 月 25 日 (土) に逝去されました。

花村元学長の在任中に取り組みられた功績は数多くありますが、主なものを紹介いたします。

1. 和泉短期大学研究紀要の刊行
2. 学校法人クラーク学園「創立三十周年誌」刊行
3. 和泉老人福祉専門学校 (現和泉福祉専門学校) の設立
4. 和泉クラーク・ホール建設
5. 和泉短期大学研究棟改築
6. パイプオルガン設置計画
7. 諸規則諸規程の整備等



略歴

・名古屋大学法学部法律学科卒業・明治学院大学大学院文学研究科社会福祉学専攻修了・宮城学院女子大学専任講師・東北福祉大学助教授
・和泉短期大学教授・和泉短期大学学長 (1982 年 4 月から 1992 年 8 月まで)・和泉老人福祉専門学校校長兼務・和泉短期大学名誉教授
・東海大学教授・弘前学院大学教授 (社会福祉学部長・学長代理)

(ご遺族: 花村 都夫人)

学園関係者一同、ご家族の上に慰めと平安がありますようお祈りし、衷心より深く感謝申し上げます。

2010 (平成 22) 年度 和泉短期大学 専攻科 新設

2010 年 4 月より和泉福祉専門学校が 和泉短期大学専攻科介護福祉専攻に生まれ変わります。

専攻科は、保育士資格を持っている皆様が一期間の学びで介護福祉士の資格を取得できます。

介護福祉士は高齢者や障がいをもつ人を専門的な知識や技術で援助する専門職で国家資格です。介護福祉士を取得することによって、国家資格がダブルになり、乳幼児から高齢者まで幅広い世代のサポートができるようになります。

専攻科での学びには、保育士の専門的な知識や対人援助の技術などが大変役立ちます。また実習では高齢者や障がいをもつ人の支援や介護技術を学ぶことができます。

「障がい児施設でのケアをしたい」「高齢者や障がい者施設で働きたい」「介護に興味がある」などと考えている皆さんを待っています。

2010 年度、2011 年度入学者は国家試験はありません。2012 年度以降の入学者は、国家試験の受験が義務づけられます。

★入試日程等の詳細はホームページをご覧ください。

URL <http://www.izumi-c.ac.jp>

和泉短期大学

検索